

2023年1月23日

## 臨時シンポジウム「大学図書館員の専門性とは」の開催

### 主旨：

2021年に日本私立大学連盟から「ポストコロナ時代の大学のあり方：デジタルを活用した新しい学びの提言」が出された。大学設置基準における「図書等の資料及び図書館」の削除が提言され、図書館職員の「形骸化」が指摘されるなど、議論を巻き起こした。日本図書館情報学会では、2022年3月5日に臨時シンポジウム「日本における大学図書館のグランドデザイン」を実施し、参加者各自がこの問題を考える契機とした。今回は、そのときに取り上げられなかった大学図書館員の専門性に論点をしぼる。現在、大学図書館員にはどのような資質・能力が求められ、どのようなサービスを担い、養成・研修の現状はどうなっているのか。多角的な視点から議論を深めていきたい。

### 共催：

日本図書館協会図書館情報学教育部会

### パネリスト（登壇順）：

加藤信哉氏（元国際教養大学図書館長）「大学図書館員の専門性について：図書館長経験者の立場から」

要旨：大学の厳しい経営状況の下で図書館職員の定員削減と業務の外部委託が進んでいる。このため、中小規模の大学図書館では、数少ない図書系の常勤職員は実際の業務に携わることがほとんどなく、業務の中心は管理であるようである。また、図書系の常勤職員は、図書館内で長い間にわたって勤務することが必ずしも多いとはいえないようである。一方で、現在の大学図書館では経済効率性の高い業務・サービスの維持に加え、教育の質保証、学生のエンゲージメントの実現、オープンサイエンスなどの大学の新たな取り組みへの対応が新たに求められている。このような状況の中で、図書館長経験者の立場から、これらの課題を受けた業務やサービスの実現の核となる大学図書館員の専門性について組織や人事の課題も含め考えてみたい。

梅澤貴典氏（中央大学職員）「コロナ禍による大学図書館員の専門性への影響：『来館できない』をチャンスに変えるために」

要旨：2020年度の新入生は、大学生としてのレポート執筆指導はおろか、図書館利用ガイダンスも受けられないまま、オンラインでの授業や課題を強いられる厳しい状況に置かれていた。そこで、全国の大学生に向けて「図書館のリモート活用による情報収集法」を解説する資料と動画を作成し公開したところ、大きな反響があったので、紹介し

たい。有料情報も利用可能な大学生の特権的な立場は強調しつつ、あえて「①本学に限らず全ての大学生」に向けて、「②無料でも信頼できる情報ならば広く取り扱う」ことを意識した。それは「将来にわたる独学者としての情報収集スキル」が本質と捉えたためである。コロナ禍により予測を超えて環境が変化したが、図書館員が専門性を高める好機と捉えることもできる。従来の「場所」や「所属」あるいは「有料／無料」といった要因に囚われず、オープンアクセスの活用や、館種を超えた連携などにより、これまで以上の学修支援が期待される。

井田浩之氏（城西大学助教）「情報リテラシー教育の実施は大学図書館員にとって優先事項なのか？」

要旨：本発表では上記の問いを共有した上で、主に次の3点から大学図書館員の専門性を考え、議論を深めていきたい。(1)教育・研究支援の専門職としての位置付け、(2)学習・研究とカリキュラムの枠組み、(3)デジタル下の学習の性質（とその変化）、である。私たちはパンデミックを経験し、紛れもなく混乱に陥った。その結果、これまでの前提が崩れた部分もあれば、大学図書館が真に担うべき部分も浮き彫りになった可能性がある。以上を踏まえて、ポストパンデミック時代の大学図書館の学習・研究支援のあり方について、参加者と考える機会を提供することが、本発表の目的である。

上岡真紀子氏（帝京大学准教授）「大学図書館員の専門性：アメリカの状況」

要旨：大学図書館員の専門性についてアメリカの状況を述べる。アメリカの大学図書館におけるトレンドの背景は、テクノロジーの進歩、高等教育改革の要請、それらに伴う研究・教育・学習プロセスの変化である。大学図書館員の新たな専門性は、これら高等教育を取り巻く変化に加え、設置母体である大学の優先事項からも影響を受けており、この点は日本の大学図書館と同様である。大きな違いは、これらの変化に対し、大学図書館が目指すべき方向性を定め、実現のためのツールや学習機会を提供する権威、かつリーダーとしてのカレッジ・研究図書館協会の存在である。本発表では、アメリカにおける大学図書館のトレンドを参照しつつ、大学図書館の新たな専門領域と大学図書館員の専門性に関して、カレッジ・研究図書館協会が果たす役割、大学図書館員の学習機会について述べる。

コーディネーター：

三浦太郎氏（日本図書館情報学会・副会長，明治大学教授）

司会：

長谷川幸代氏（日本図書館協会図書館情報学教育部会・幹事，跡見学園女子大学講師）

開催日時：

2022年3月4日（土）13:30-16:45（終了時刻は予定）

日本図書館協会会館2階研修室（東京都中央区新川1-11-14）

※Zoomによるオンライン配信を併用予定

参加費：無料

参加申し込み方法：

以下のサイトから、2023年2月24日（金）までに、お申し込みください。

※非会員の方も申し込み可能ですが、申し込みが多い場合には抽選とさせていただきます。

<https://forms.gle/zGezAN5H1ZAS35vp9>

問い合わせ先：

コーディネーター・三浦太郎 [tmiura3.2014@gmail.com](mailto:tmiura3.2014@gmail.com)